

令和7年度 市民協働まちづくり支援事業

かなまり
自然豊かな「はざまの里神余」の
移住者受け入れ促進事業

実施報告

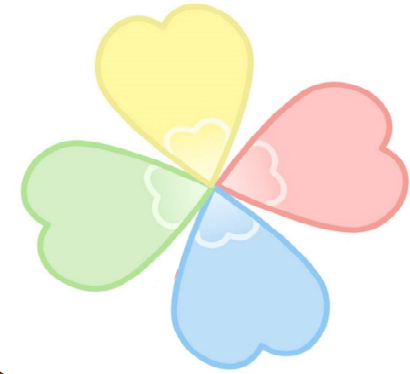
神余かえでプラン委員会

令和8年 3月 19日

〈実施目的〉

館山市の少子高齢化や人口減少に歯止めをかけるため、文化や小学校など地域に特性がある神余地区の魅力を分かりやすく整理し、田舎暮らしに興味のある層に周知を図り、交流の場を設け、移住者増加をねらう。





《実施した4つの事業》

1. 小規模特認校を学ぶ
『教育シンポジウム』の開催。
2. 神余を体感できる 『地域体験教室』の実施。
3. 移住支援センターの
『移住相談員の視察』受け入れ。
4. 地域の魅力を分かりやすく！
『魅力MAPの作成』。

<1>

小規模特認校を学ぶ 『教育シンポジウム』 の開催

日時： 8月30日(土)
14:00~16:00

場所： 房州第2ビル

参加人数： 89名

参加無料

教育シンポジウム 小規模校の魅力

～安房地域初の小規模特認校がもうすぐスタート！
みんなで子どもたちの教育について考えよう～

3人の専門家に聞く！

令和7年8月30日(土)
14:00~16:30
房州第2ビル 2階にて



最新情報はこちら
Instagramで
アップしています⇒

令和7年度館山市 市民協働まちづくり支援事業

当日のスケジュール

- 14:00 開演、開会のあいさつ
- 14:05 ゲストスピーカーのミニ講演会
- 15:05 休憩
- 15:15 小規模校 卒業生・保護者の声
- 15:30 質疑応答・フロアとの意見交換会
- 16:15 ゲストスピーカーからのコメント
- 16:30 終了



3名のゲストスピーカー

山本 由美

和光大学名誉教授
日本教育法学会理事
東京自治問題研究所理事



金馬 国晴

横浜国立大学教育学部教授



小玉 敏也

麻布大学 生命・環境科学部教職課程教授
立教大学 E S D 研究所客員研究



卒業生・保護者の発表



神余小学校 卒業生



神余小学校
元保護者

アンケートよりコメント抜粋

- ・3種3様ちがう先生方の小規模校についての話がとても参考になった。
- ・神余小学校の卒業生や保護者のコメントにリアリティがあってよかった。
- ・地域と学校の繋がりがあって小規模校の価値があるという発表ができた。
- ・地域全員がPTA会員ということに驚かれていた。
- ・「シンポジウム」という言葉が壁になり、参加できなかった人がいるかも。



<2>

神余を体験できる

『地域体験教室』の実施



児童発表会「かえで祭り」見学



神余探訪と椎茸のコマ打ち体験

子ども神輿体験会

日時: 7月20日(土)
11:30~13:30

場所: 子ども神輿ルートの一部

参加人数: 4組



この夏、
思い思いの夏まつり

2025年
神余
7月20日
場所: 日吉神社
11:30~

子ども神輿体験
主催: 神余かえでマラン委員会

か
な
り
ん

スケジュールやお問い合わせなど
連絡先など詳しくは
神余小PTAインスタにて公開→



栗拾い体験

日時: 10月12日(日)

10:00~11:30

場所: 神余 上地区

参加人数: 58名



栗ひろい体験&
どんぐり拾い
・どんぐり工作

参加者
募集中

令和7年
10月12日
10時~

令和7年
11月16日
9時30分~

主催:神余かえでプラン委員会



か スケジュールや、お問い合わせなどは
な kanamarimiryoku@yahoo.co.jp
り 子ども達の様子は神余小PTAインスタにて公開中→
ん 令和7年度館山市市民協働事業



@KANAMARIPTA

どんぐり拾い・工作

日時： 11月16日(日)、9:30~11:30

場所： 神余小学校講堂、神余地区内

参加人数： 45名



児童発表会

「かえで祭り」見学

日時： 11月18日(火)、13:30~15:00

場所： 神余小学校ランチルーム

参加人数： 7名



11月16日 参加者募集中

どんぶり拾い
どんぶり工作



学校見学開催

11月18日

主催:神余かえでPTA委員会



か スケジュールや、お問い合わせなどは
な kanamarimiryoku@yahoo.co.jp
り 子ども達の様子は神余小PTAインスタにて公開中→
ん 令和7年度館山市市民協働事業



神余探訪と 椎茸のコマ打ち体験

日時： 2月21日(土) 9:30~12:30

場所： 神余区内、ふれあい神余の郷

参加人数： 31名



<3>

移住支援センターの 『移住相談員の視察』受け入れ。

日時： 9月26日(金)
10:30~19:30

場所： 神余地区内、神余小学校

参加人数： 58名



ちば移住支援センターについて



交通会館ビル



ふるさと回帰支援センター



移住相談員
高羽千佳さん

視察の様子

学校の視察



地域内の視察

移住者のお宅 視察

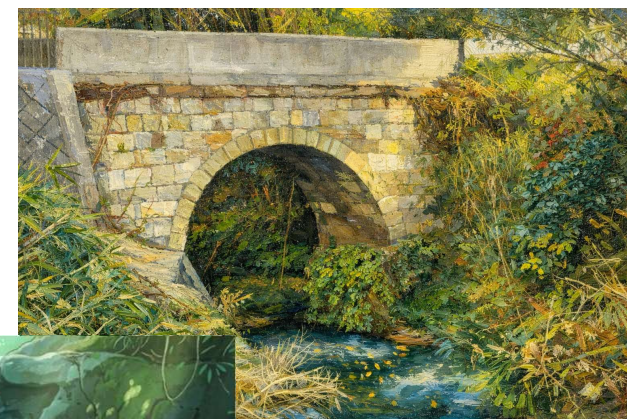


移住者受け入れに関する意見交換会



<4>

地域の魅力を分かりやすく！ 『魅力MAP』の作成



アンケートの実施

対象者：中学生以上の神余区民全員

期間：5月末より7月上旬まで

提出者数：19名、提出項目63個



内容：自然・・・ 蛍、かえるの合唱、星空、花木、山菜、川

歴史・・・ 金明様、塩井戸、大高尾の大井戸、石積みアーチ橋

文化・・・ 自性院、かっこ舞、小学校の講堂、城跡、稲作

暮らし・・・ 静か、空気がきれい、地域の固い結束

MAP作成会議の様子

MAP会議作成チームのメンバーを全区民に募集！



MAP 表面

KANAMARI 魅力マップ

ハロー！ 86 かなまり魅力マップ

館山の里山「神余」ってどんなところなんだろう。神余の全体図をとおして魅力をお伝えします！

神余 情報発信

Instagram
776

1 自性院
室町時代が起源。静けさの中でこの地の長い歴史を伝えている。

2 逸鶴の滝
山奥の秘境にある滝。滝つぼには不意時王像がある。

3 金明社
ケガを負ったため自害した家来を慰養するために建てた。

4 中間六兵衛工宅
新築を中絶して建てたお礼に「中間」姓を与えられた子供の家。

5 茂間神社
神余地区最高峰の京舞山にある富士山信仰の社。

6 まなびの杜 神余分校
地域の中心地。卒業しても心に残ると、150年の歴史あり。

7 白吉神社のかつこ舞
郡山市指定無形民俗文化財。250年前から続く歴史ある舞。

8 白吉神社
神余の氏神様。804年前造。7月の祭礼時は賑わいます。

9 塩井戸
私法大僧が鶴杖を突き立てたところから湧き出した伏流水が湧く。千葉県指定有形民俗文化財。

10 塩井戸橋
明治44年築のアーチ橋。近年の地震で石積みが出現。

11 智恵寺
坂の伊八作の惣出せり。なごの観音彫刻。

＜指定を受けている文化財＞

① 県指定有形民俗文化財 神余の私法井戸	② 市指定有形文化財(彫刻) 木造阿弥陀如来坐像	③ 市指定有形文化財(工芸品) 水屋製六角五輪塔形舍利塔	④ 市指定無形民俗文化財 神余日吉神社のかつこ舞
-------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-----------------------------

＜神余村六地蔵＞

- ① 上大倉の地蔵
- ② 山下の地蔵
- ③ 旧松野尾寺の地蔵
- ④ 旧来迎寺の地蔵
- ⑤ 堰面の地蔵
- ⑥ 久所の地蔵

＜バス停＞

- ① 上神余
- ② 大倉
- ③ 小学校前
- ④ 下神余

＜花の名所＞

- ゆり
- あじさい
- 千両
- 彼岸花
- 水仙
- 露鉄
- 蕨

神余地区 ハイキング コースマップ

MAP 裏面

もっとおしえて! かなまりの魅力 神余の魅力



小規模特認校 まなびの杜神余分校

令和8年度(2026年度)より神余分校は、安房エリア初の小規模特認校になりました。もともと、日々の生活から伝統文化まで様々な面で地域の人たちが児童の成長を支えるコミュニティスクールのような環境の小学校ですが、この制度により、子どもたち一人ひとりに寄り添った教育がさらに強化され、地域の特性を生かしたカリキュラムがおこなわれています。

神余分校は、元々150年以上の歴史ある小学校ですが、建築業界のデザイン賞も受賞している過ごしやすい木造校舎と、昭和11年に建てられた趣のある講堂、そして四季の移り変わりを五感で感じられる周囲の自然環境の中で、児童たちは日々の学びを通じて素晴らしい経験を積むことができます。

児童一人ひとりに目が行き届く学びの場では、多くの先生方が保護者や地域の人々と密に連携し、児童の教育に情熱を傾けて下さっています。児童たちが伸びのびと安心して学べる、少人数制ならではのアットホームな環境です。



地元の美味しいもの

神余には季節を感じる美味しいものが沢山ありますが、里山暮らしの中心にあるのは昔も今も稲作です。多くの住民が自分で稲を育て、美味しいお米を作っています。神余の農家さんが育てている主な作物は、いんげん・春菊・菜花など。里山では、フキノビル・セリなどの山菜や、柿・アケビ・栗・タケノコなども楽しめます。

地区内には「キッチンカフェマリヌス」と「ふれあい神余の里」があり、「神余の里」で毎月おこなわれているマルシェでは

ジビエ肉を利用したイノシシ丼やジャーキーなどが食べられます。オリジナルのアルコール「かなまのマッコリ」も大人気。



日吉神社のかつこ舞



神余には、金丸氏によって804年に創建された日吉神社があります。例祭は7月19・20日。青年によるみこし渡御、子どもたちによる子どもみこし渡御、そして200年以上前から伝わる館山市無形民俗文化財「かつこ舞」が、雨乞いと五穀豊穡を願い奉納されます。時代の流れの中で幾度となく中断されましたが、昭和49年高校生の自主団体「あすなる会」によって復活し、今日の伝承を不動のものにしてくれました。現在も高校生を中心に踊られていて、子どもたちは高校生になったらかつこ舞を踊りたいと憧れを持ち、大人たちはかつこ舞を踊る姿を観て成長を喜び、大人たちは大人への階段を登る機会となります。

地域の人たちは、「神余かつこ舞保存会」を組織して、伝統のあるかつこ舞を後世へ継承・保存するための活動が行われています。



生き物の宝庫



【動物】野ウサギ、たぬき、かえる、へび、いのしし、猫、リス、イモリ、すっぽん、サンショウウオ

【鳥類】コジュケイ、キジ、山鳥、カワセミ、メジロ、オオルリ、フクロウ、キツツキ

【魚類】鯉、ふな、はや、えび、かに、うなぎ、なまず、センキ、どじょう

【昆虫】カブトムシ、クワガタ、螢、玉虫、カマキリ、黒アゲハ、とんぼ

【花木】かえで、ゆり、紫陽花、千両、彼岸花、水仙、桜、梅、藤、菜の花、蘇鉄



歴史と伝説

平安時代中期の書物にも書かれている歴史ある里 神余には、いくつもの逸話が残っています。源頼朝が房総半島を訪れた際に休んだ中間六兵衛の家や、頼朝が白羽の矢を刺して水が湧き出た大井戸があります。

また、神余城に居を構えていた金丸氏と山下氏の戦いは、南総里見八犬伝のモデルになったと言われます。弘法大師が錫杖を突き刺し地下水が湧いた井戸は塩井戸と呼ばれ、今も水の湧く姿を見ることができます。



まとめ

移住者増加をテーマに、主に市外の人を対象とした様々なイベントの実施やプロモーション活動を実施したが、その過程を通して神余地区および館山市の魅力について深掘りする機会づくりと、市内外・神余内外の人が交流する場作りができた。

どんぐり拾い・工作 (R7.11.16)



今後の展開

今回の事業を通して、地域と学校が連携した小規模校の教育や、自然に囲まれた環境での暮らしに興味のある移住者層が一定数いることを実感した。

今後作成した魅力マップ等を活用し、神余・館山市の魅力を他地域へプロモーションすることや、神余・館山市内外の人の交流の場づくりの必要性を感じた。

ご静聴 ありがとうございます。



神余かえでプラン委員会